

CONTENTS

02
特集

安芸高田グルメを
食べよう!

- 06 市長コラム
- 07 イベント情報
- 08 行政情報
- 10 上水道・下水道の今、そしてこれから
- 11 いきいき介護
- 12 健康いいカラダ
- 14 申告相談・確定申告のお知らせ
- 18 HOTな話題
- 19 リレーコラム
(有)和高醸造
大坪 慎吾さん
- 20 げんきな親子
- 21 新しい小学校が誕生します
- 22 警察
- 23 消防
- 24 消防出初式・表彰者
- 26 図画ポスターコンクール入選作品決定
- 27 歴史紀行
- 28 トピックス／募集
- 30 およこび・おくやみ
- 31 2月の相談
- 32 集まれ!安芸高田のアイドル



(今月の表紙)
神楽門前湯治村
「権兵衛」の夜又うどん

本庁・支所連絡先

- 安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)
- 八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111
- 美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311
- 高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311
- 甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111
- 向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30~17:15
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ
<http://www.akitakata.jp>



2月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

2月
8日

サンフレッチェ広島 必勝祈願祭

☎ 清神社
☎ 11時~(予定)
☎ 生涯学習課 文化・スポーツ振興係
☎ お太助フォン 42-0054

今年もサンフレッチェ広島のメンバーが清神社を訪れ、必勝祈願を行います。2018シーズンより指揮を執る城福浩氏も新監督として参加予定。厳かな雰囲気の中、神事が執り行われ、今シーズの活躍を祈願します。
※スケジュールの都合により日程が変更となる場合があります。



2月
14日

第15回 安芸高田市児童・生徒自画像展

☎ 八千代の丘美術館
☎ 2月14日(水)~3月5日(月)
☎ 八千代の丘美術館
☎ お太助フォン 52-3050

子どもたちが芸術に親しむとともに、自分を見つめる機会にしておうと毎年開催している「児童・生徒自画像展」。市内小、中学校の児童、生徒から募集した自画像を展示します。



第14回大賞作品

2月
14日

障害を知り、共に生きる
あいサポートアート展

☎ クリスタルアーゾ 1階市民ギャラリー
☎ 2月14日(水)~22日(木)
☎ 社会福祉課 障害者福祉係
☎ お太助フォン 42-5615

障害のある方の芸術活動への参加を通じて生活を豊かにするとともに、県民の障害への理解と認識を深め、障害のある方の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として開催されています。期間中は市内の障害者福祉施設利用者の作品展示も行います。



2月
18日

安芸高田市民フォーラム

☎ 高宮田園パラッツォ
☎ 13時開会(12時30分開場)
☎ 地方創生推進課 まちづくり支援係
☎ お太助フォン 42-2124

今回で14回目の開催となる「安芸高田市民フォーラム」では、若者が今後の地域社会の担い手として活躍できるよう、「若者が興す我まち安芸高田」をテーマに、パネルディスカッションによる意見交換などを行います。

☎ 申込不要



宿泊を伴う指定管理施設の課題と今後の方向性

安芸高田市には、年間約170万人の観光客が訪れており、この観光客を受けられている宿泊可能な観光施設に、神楽門前湯治村(美土里町)、たかみや湯の森(高宮町)、川根エコミュージアム(高宮町)があります。どれも施設の管理運営は指定管理者に担っていただいております、この3施設を合わせると、週末や祝日などを中心に、年間約25万人もの観光客が訪れています。これは、指定管理者の献身的な経営努力の結果と考えており、頭が下がる思いです。これらの施設は、安芸高田市に人呼び込み、地域の活性化に貢献しています。私もこれらの施設は、安芸高田市の活性化に欠かせない大切な施設と考えており、将来にわたって継続して守っていかねばならない施設であると認識しています。一方で、建設から20年以上が経過し、いずれ施設の更新が必要となり、更新費には数億円単位の多大な費用が掛かるのも事実です。この費用を捻出するためには、観光客を増やし、収益をあげ積み立てる必要がありますが、現状の運営では難しい状況になってきていると感じています。そのため「観光」という枠だけでは解決



神楽門前湯治村



川根エコミュージアム



たかみや湯の森

策は見いだせず、「福祉」分野での活用もできないかと考えています。市民の健康増進という考え方をすれば、宿泊、入浴、食事を備えた施設が市内に複数あることは強みになります。これらの施設を活用し、平日など稼働の低い時に、例えば高齢者の皆さんの健康増進、いわゆる「湯治」を目的として利用すれば、健康寿命が延びるとともに行政的にも医療費の抑制につながり、大きなメリットがあります。さらには、平日に施設を利用す

ることで、施設側として稼働率が上がり、施設更新の経費を積み立てていけると考えています。
このように、観光だけ、福祉だけの縦割りで事業を実施するのではなく、市が一丸となって現在ある資源を活かしながら、効率的、効果的に行政運営することで、「訪れたい」そして「いつまでも住み続けたい」安芸高田市にしていきたいと思っています。